

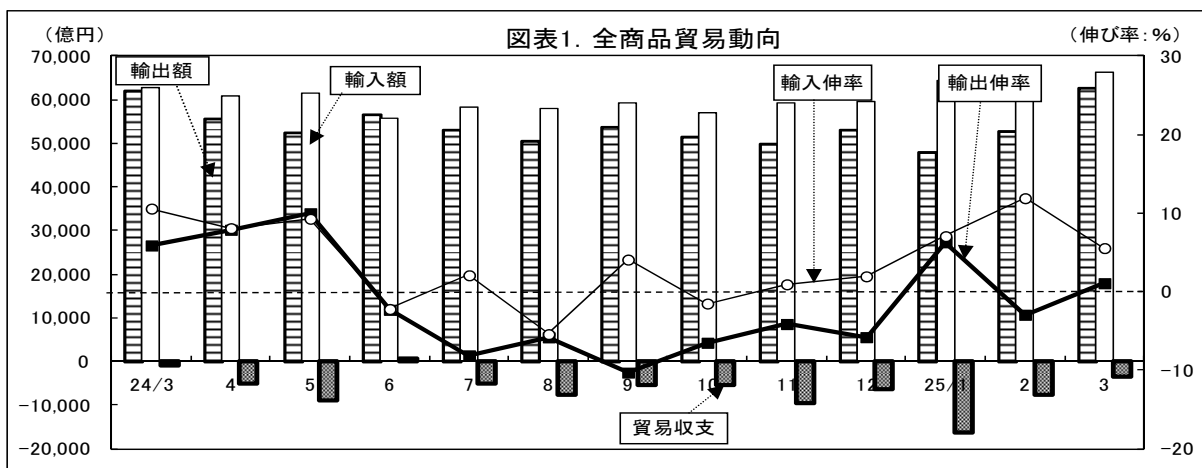
最近の機械貿易動向(3月)～機械輸出は2ヶ月連続でマイナスへ～

日本機械輸出組合 2013. 5. 13

平成25年3月の機械輸出額は4兆272億円、対前年同月比2.6%減と2ヶ月連続でマイナスとなった。これは、①北米以外の全ての地域がマイナスになったこと、②機械輸出額の約32%を占める自動車の伸びが1.2%減となったこと、デジカメ、工作機械が大幅に減少したことなどによる。3月は為替・営業日が4.5%の増加要因となったが、実質的な伸びは7.1%減とマイナス基調が続いている。4月はさらに円安が進み、9.2%の増加要因となり、また営業日も前年より1日多いことで、為替・営業日は14.2%の増加要因となる。4月の機械輸出額は、仮に3月の実質的伸び(7.1%減)が続くとすれば、前年比7.1%増と予想されるが、貿易統計速報では4月上中旬の全商品の輸出の伸びは5.3%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は再びプラスに、貿易赤字は3月では最大に～

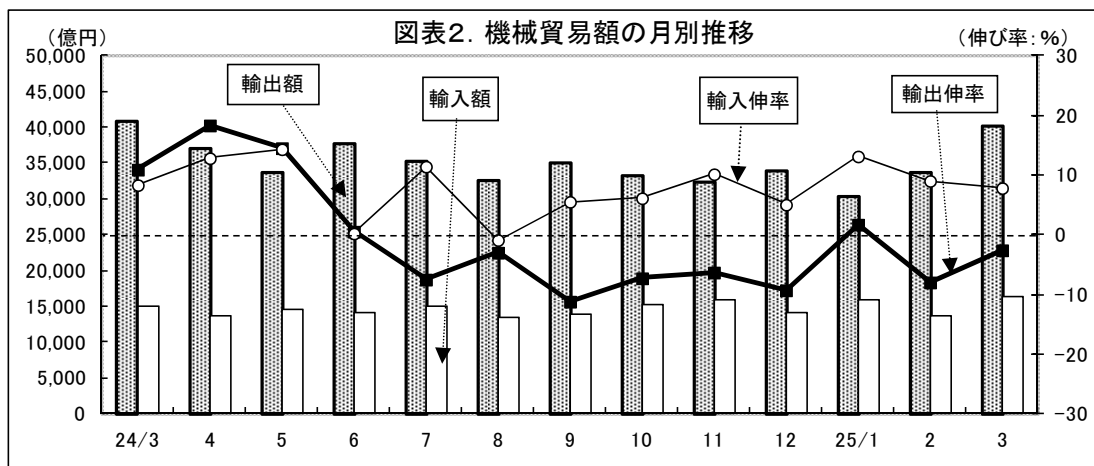
- 平成25年3月の全商品輸出額は**6兆2,710億円**、前年同月比(以下同じ)**1.1%増**と再びプラスとなった(1月2.9%減)。これは全輸出額の約11%を占める有機化合物・プラスチック等化学製品(12.6%増)、約14%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(3.3%増)等が増加したことによる。
- 輸入額は**6兆6,350億円**、**5.6%増**となったがプラス幅は縮小した(2月11.9%増)。これは、全輸入額の約37%を占める原粗油等鉱物性燃料(6.1%増)、約12%の通信機・電子部品等電気機器(11.5%増)、医薬品等化学製品(6.4%増)が増加したためである。
- この結果、輸入の伸び率が輸出を上回ったため、輸出額から輸入額を差し引いた3月の貿易収支は、3,640億円と7月以降9ヶ月連続で貿易赤字となり、3月として1979年以降最大の赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は2ヶ月連続マイナスへ、輸入は7ヶ月連続プラス～

- 全商品輸出額の約64%を占める3月の機械輸出額は**4兆272億円**、**2.6%減**とマイナス幅は縮小した(2月8.0%減)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年3月)と比べると**76.6%**となり、前月の水準に比べ5.5ポイント回復した(2月71.1%)。
- 一方、全商品輸入額の約24%を占める機械輸入額は、**1兆6,224億円**、**7.8%増**と7ヶ月連続の増加となった(2月9.0%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の**94.8%**と前月の水準に比べ、1.9ポイント改善した(2月92.9%)。

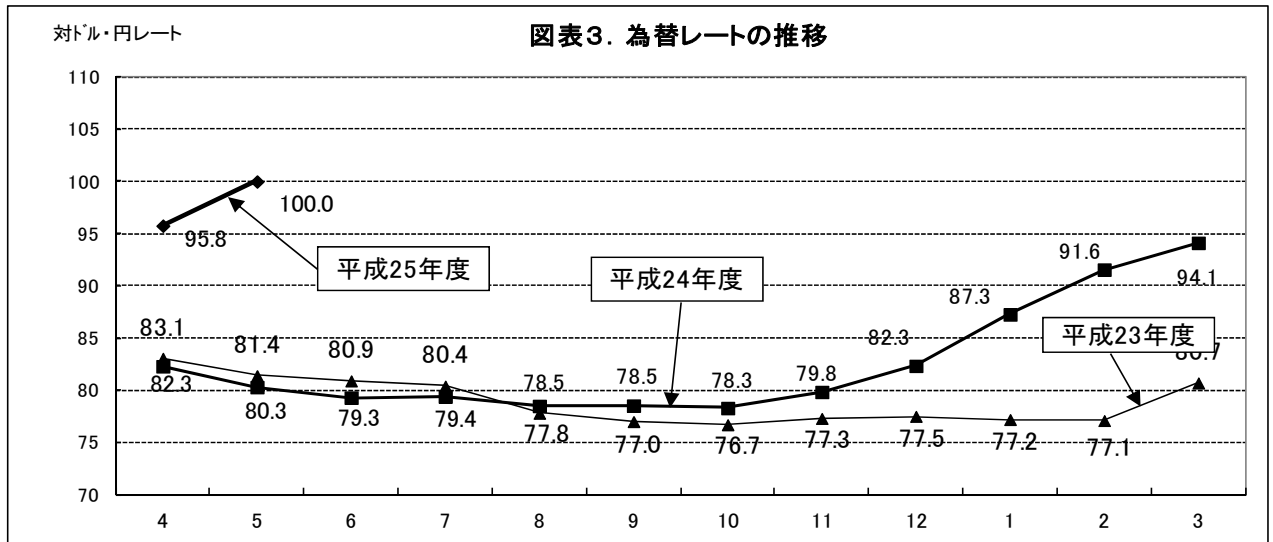


(2) 為替動向・営業日～3月は為替・営業日で5.1%の増加要因、4月は14.6%の増加要因～

1) 3月は1ドル=94.1円と円安がさらに進み、前年に比べ16.6%の円安となった。また、対ユーロも123.4円と前年に対して15.6%と円安が進展し、合わせて約9.3%の為替増加要因となった。営業日は実働日が1日少なく、4.8%の減少要因となり、合わせて4.5%の増加要因となる。3月の輸出額は2.6%減であったことから、実質的伸び率は7.1%減とマイナス幅はほぼ横這いであった(2月6.8%減)。

2) 4月は1ドル=95.8円と円安となり、前年に比べ16.4%の円安となった。また、対ユーロでは123.9円で前年に対し14.3%の円安となり、合わせて約9.2%の為替増加要因となった。営業日が1日多いこと(5.0%増)と合わせると14.2%の増加要因となる。

3) 5月は、対ドルが現状の100円とすれば、前年に比べて24.5%の円安、また、対ユーロも130円と23.7%の円安となり、合わせると約13.9%の為替増加要因となる。営業日は同じなので合計13.9%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米のみがプラスとなり、それ以外の全ての地域でマイナス～

1) 機械輸出額が減少したのは、①機械輸出額の16.2%を占める中国向けが自動車(15.5%減)、産業機械(9.9%減)をはじめ、電子デバイス(7.6%減)、民生用電子機械(デジカメ等、15.2%減)、工作機械(42.3%減)等がマイナスとなり、8.3%減とマイナスとなったこと、②27.5%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けは、タイ(10.5%減)、香港(8.5%減)、インドネシア(11.0%減)が大幅減となり、業種では、産業機械、民生用電子機械、建設機械、工作機械等が大幅減となって5.4%減となったこと、③10.1%を占めるEU向けは、自動車(10.2%減)、産業機械(5.8%減)、民生用電子機械(9.0%減)、軽機械(分析・試験・検査機等、18.4%減)が大幅にマイナスとなり、4.6%減となったこと、④23.1%を占めるその他地域向けでは、大洋州(13.6%減)、アフリカ(18.0%減)、中近東(3.8%減)、インド(11.5%減)等がマイナスとなり、機種では、全体の約52%を占める自動車(0.6%増)がプラスとなる一方、船舶(3.4%減)、建設機械(19.0%減)、重電気機械(16.6%減)、光学機械(25.8%減)が減少となって1.2%の減少となったことによる。

2) 他方①機械輸出額の23.1%を占める北米向けは、全体の48%を占める自動車(1.7%増)をはじめ、産業機械(20.2%増)、建設機械(13.7%増)、軽電気機械(20.2%増)が増加し、5.1%増となった。

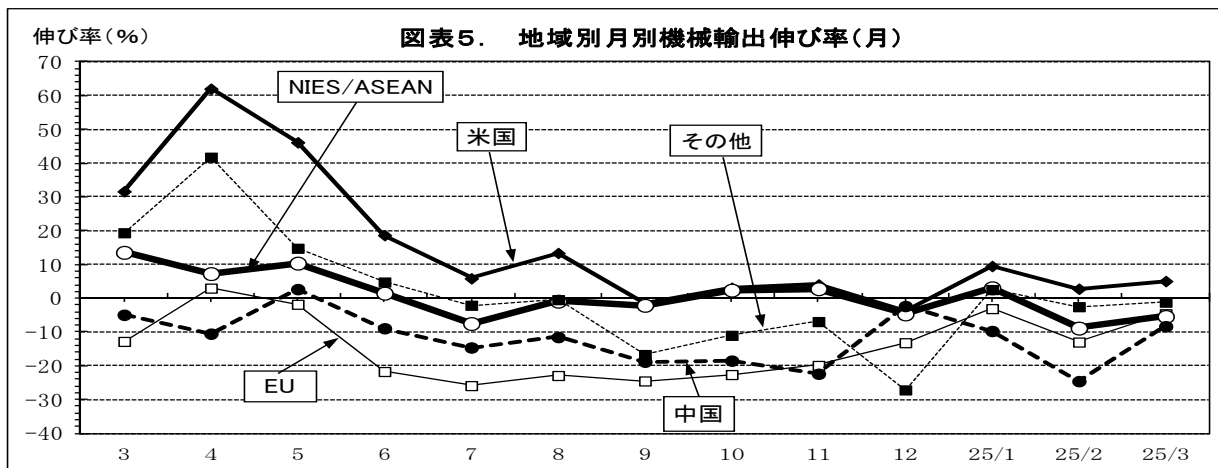
3) また、リーマンショック前の平成20年3月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えた地域はなく、中国が98%、北米及びNIES/ASEANが85%、その他地域が71%、EUは47%と低い水準となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2013/1			2013/2			2013/3			対08年 3月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	30,343	1.7	90	33,727	▲ 8.0	100	40,272	▲ 2.6	100	0.77
北米	7,231	9.6	21.4	8,666	2.8	25.7	9,295	5.1	23.1	0.85
EU	3,561	▲ 3.1	10.6	3,663	▲ 13.0	10.9	4,082	▲ 4.6	10.1	0.47
NIES/ASEAN	8,394	3.1	24.9	9,084	▲ 8.9	26.9	11,079	▲ 5.4	27.5	0.85
中国	4,114	▲ 9.7	12.2	4,692	▲ 24.6	13.9	6,516	▲ 8.3	16.2	0.98
その他	7,043	2.6	20.9	7,622	▲ 2.5	22.6	9,299	▲ 1.2	23.1	0.71

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2012/12		2013/1		2013/2		2013/3	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,682	▲ 15.7	1,516	▲ 5.5	1,668	▲ 8.4	2,058	▲ 1.5
台湾	1,640	0.5	1,399	23.8	1,432	▲ 7.8	1,762	6.5
香港	1,379	▲ 8.5	1,188	0.9	1,097	▲ 18.3	1,443	▲ 8.5
タイ	1,955	35.3	1,626	20.5	1,796	▲ 5.0	2,031	▲ 10.5
シンガポール	717	▲ 26.9	694	▲ 3.9	648	▲ 14.6	946	▲ 6.2
インドネシア	794	▲ 20.5	682	▲ 11.1	872	1.8	1,023	▲ 11.0
マレーシア	736	0.1	535	▲ 12.8	690	▲ 8.0	765	▲ 5.5
フィリピン	491	▲ 16.3	430	▲ 8.9	475	▲ 13.8	522	▲ 12.9
ベトナム	382	1.9	264	19.1	304	▲ 6.6	409	▲ 3.2
その他地域								
中南米	1,900	▲ 5.8	2,571	3.9	2,057	▲ 13.0	3,014	9.6
中近東	1,546	12.1	1,254	3.1	1,550	▲ 6.0	1,748	▲ 3.8
大洋州	1,106	▲ 9.9	939	▲ 16.2	1,195	▲ 0.6	1,388	▲ 13.6
ロシア東欧等	979	▲ 5.3	1,178	29.0	1,361	5.3	1,460	7.5
アフリカ	580	▲ 28.9	675	12.8	950	50.1	927	▲ 18.0
インド	453	▲ 17.8	367	▲ 3.4	387	▲ 20.8	485	▲ 11.5

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～19業種のうち13業種がマイナス、自動車は2ヶ月連続でマイナス～

- 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが、13業種と2業種減少した(2月15業種)。全体の約32%を占める自動車が引き続きマイナス(1.2%減)、産業機械(2.8%減)も21ヶ月連続マイナスとなり、民生用電子機械、建設機械、工作機械、通信機械が二桁のマイナスとなった。プラスとなったのは、光学機械(12.8%増)、繊維機械(11.4%増)、医療機械(5.8%増)、電子計算機(4.9%増)等であった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのは医療機械、光学機械、ベアリングの3業種で、他方、民生用電子機械、通信機械、電子計算機、産業車両は、40%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

2013/1			2013/2			2013/3			対08/3比
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	
自動車	10,405	6.7	自動車	12,388	▲ 2.5	自動車	13,024	▲ 1.2	0.72
産業機械	4,887	▲ 0.4	産業機械	5,564	▲ 23.1	産業機械	7,031	▲ 2.8	0.86
電子デバイス	2,361	1.3	電子デバイス	2,455	▲ 19.2	電子デバイス	3,021	▲ 0.5	0.75
船舶	2,294	▲ 7.1	船舶	1,513	▲ 31.6	船舶	2,260	2.2	0.76
軽電気機械	1,487	4.7	軽電気機械	1,699	▲ 14.8	軽電気機械	2,077	4.1	0.78
民生用電子機械	1,187	▲ 6.7	民生用電子機械	1,229	▲ 38.3	民生用電子機械	1,591	▲ 19.8	0.49
重電気機械	1,372	1.7	重電気機械	1,588	▲ 34.2	重電気機械	2,102	▲ 1.9	0.96
軽機械	1,089	7.1	軽機械	1,217	▲ 19.9	軽機械	1,464	▲ 3.6	0.78
光学機械	1,082	9.6	光学機械	1,131	▲ 3.4	光学機械	1,415	12.8	1.07
建設機械	658	▲ 37.1	建設機械	920	▲ 44.2	建設機械	1,355	▲ 17.8	0.70
工作機械	638	▲ 2.9	工作機械	675	▲ 27.8	工作機械	885	▲ 23.9	0.85
通信機械	364	▲ 7.0	通信機械	415	▲ 8.9	通信機械	485	▲ 10.2	0.49
電子計算機	371	7.2	電子計算機	438	▲ 13.3	電子計算機	530	4.9	0.49
ベアリング	274	▲ 4.2	ベアリング	321	▲ 6.9	ベアリング	377	▲ 4.4	1.02
陸用内燃機関	273	▲ 7.6	陸用内燃機関	313	▲ 30.1	陸用内燃機関	429	▲ 4.2	0.90
医療機械	287	28.3	医療機械	346	17.2	医療機械	448	5.8	1.50
繊維機械	126	6.6	繊維機械	201	12.5	繊維機械	231	11.4	0.81
農業機械	128	9.2	農業機械	160	8.2	農業機械	175	▲ 1.6	0.77
産業車両	93	▲ 6.9	産業車両	110	▲ 16.5	産業車両	129	▲ 8.6	0.49
19業種合計	29,376	96.8	19業種合計	32,683	96.9	19業種合計	39,029	96.9	0.76

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。* 民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD・プリンター等部品。軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～電池、光学機械等が大幅増加、デジカメ・ビデオ、発電機は大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①NIES/ASEAN、EU、北米向け**電池** (22.0%増)、②中国向け**光学機械** (12.8%増)、③NIES/ASEAN、その他地域、北米向け**運搬機械** (11.5%増)、④その他地域、中国向け**繊維機械** (11.4%増)、⑤NIES/ASEAN、北米、EU向け**電気・電子計測器** (10.4%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、発電機(51.8%減)、デジカメ・ビデオ(35.9%減)、録画・再生機器(32.9%減)、エアコン(26.2%減)、半導体製造装置(24.2%減)、工作機械(23.9%減)、時計(21.2%減)、建設機械(17.8%減)、電子応用装置(17.5%減)、磁気カード・ディスク等(16.9%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円)

2013/1			2013/2			2013/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
原動力機械	427	43.4	医療機械	346	17.2	電池	193	22.0
医療機械	287	28.3	運搬機械	239	16.4	光学機械	1,415	12.8
電池	146	17.4	電池	168	12.6	運搬機械	273	11.5
自動車部品	3,416	15.8	繊維機械	201	12.5	繊維機械	231	11.4
風水力機械	553	15.3	機種合計	954	2.8%	電気・電子計測器	498	10.4
発電機	102	14.2			機種合計	2,417	6.0%	
運搬機械	189	10.4						
時計	64	10.2						
機種合計	5,184	17.1%						

は、2ヶ月連続で上位機種 ・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円)

2013/1			2013/2			2013/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
建設機械	658	▲ 37.1	電子応用装置	35	▲ 45.2	発電機	117	-51.8
半導体製造装置	719	▲ 34.1	デジカメ・ビデオ	322	▲ 39.6	デジカメ・ビデオ	509	-35.9
録画・再生機器	7	▲ 33.4	半導体製造装置	858	▲ 37.3	録画・再生機器	11	-32.9
エアコン	6	▲ 29.9	発電機	82	▲ 30.9	エアコン	9	-26.2
デジカメ・ビデオ	343	▲ 23.4	工作機械	675	▲ 27.8	半導体製造装置	999	-24.2
産業用ロボット	69	▲ 17.1	建設機械	920	▲ 25.9	工作機械	885	-23.9
機種合計	1,802	5.9%	時計	65	▲ 24.5	時計	89	-21.2
			磁気カード・ディスク等	130	▲ 24.3	建設機械	1,355	-17.8
			陸用内燃機関	313	▲ 19.1	電子応用装置	63	-17.5
			録画・再生機器	13	▲ 19.0	磁気カード・ディスク等	158	-16.9
			機種合計	3,413	10.1%	機種合計	4,195	10.4%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

(6) 機械輸入動向～電子計算機、携帯電話、電子デバイスが大幅増、乗用車、TVが大幅減～

1) 3月の機械輸入伸び率は7.8%増と7ヶ月連続で増加となった。その要因は、二大輸入機種である電子計算機(5.9%増)と電子デバイス(26.9%増)に加え、携帯電話(40.3%増)、乗用車(22.2%増)、医療機械(12.3%増)、白物家電(10.3%増)の2桁増が大きく影響したためである。他方、減少したのは航空機類(22.2%減)、TV(5.1%減)、民生用電子部品(3.5%減)であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、TV、時計、ラジオ、録画・再生機器となっている。

3) 地域別機械輸入額は、中国(10.3%増)、EU(11.7%増)、ASEAN(7.6%増)、北米(11.8%減)、韓国・台湾(8.6%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2013/1				2013/2				2013/3			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,936	29.4	12.3	電子計算機	1,701	4.5	12.4	電子計算機	2,009	5.9	12.4
電子デバイス	1,631	19.4	10.3	電子デバイス	1,482	16.0	10.8	電子デバイス	1,805	26.9	11.1
携帯電話	1,356	57.4	8.6	携帯電話	1,107	47.4	8.1	携帯電話	1,067	40.3	6.6
乗用車	815	32.3	5.2	自動車部品	660	12.9	4.8	乗用車	898	22.2	5.5
自動車部品	750	7.8	4.7	医療機械	542	16.8	3.9	分析・試験・検査機	862	7.1	5.3
白物家電	565	10.5	3.6	乗用車	529	▲ 16.0	3.9	自動車部品	708	3.2	4.4
医療機械	534	24.7	3.4	白物家電	443	13.8	3.2	白物家電	617	10.3	3.8
航空機類	392	▲ 25.8	2.5	航空機類	403	25.7	2.9	医療機械	599	12.3	3.7
光学機械	330	▲ 2.2	2.1	分析・試験・検査機	352	16.3	2.6	航空機類	478	▲ 22.2	2.9
民生用電子部品	298	▲ 0.9	1.9	光学機械	292	10.7	2.1	光学機械	335	0.0	2.1
分析・試験・検査機	284	9.1	1.8	民生用電子部品	257	0.9	1.9	民生用電子部品	302	▲ 3.5	1.9
風水力機械	221	▲ 3.2	1.4	風水力機械	203	11.4	1.5	TV	270	▲ 5.1	1.7
12機種合計	9,112		57.7	12機種合計	7,971		58.0	12機種合計	9,950		61.3

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。 白物家電: 民生用電気機械